



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年9月5日

第15号

思い出たくさん意気込みいろいろ 2学期スタート

★ランチルームでの始業式は笑顔いっぱいでした

皆さん、夏休みはいかがお過ごしでしたか。9月1日（月）、元気な子供たちの声が校内に戻ってきました。

1学期末の終業式同様、2学期の始業式はランチルームで行いました。また、式の後は、1年前と同様「お楽しみビンゴ」を行いました。夏休みをふり返る質問に答えながら関連する数字を○で囲むのですが、なかなかの盛り上がりで、たくさんの笑顔が見られました。

ビンゴシートにふり返りの感想欄を作ったところ、素敵な内容がたくさん集まりました。いくつか紹介します（※ ○の数字は学年です）。全てのシートに目を通し、校長からのコメントを返しました。



夏休みの思い出

- ・きめつのえいがをみにいきました。① ・クレヨンしんちゃんのえいがを見にいきました。②
- ・家ぞくとディズニーランドに行き、スプラッシュマウンテンがこわかったです。③
- ・サッカーのえんせいでとうきょうに行きました。③ ・卓球で全国大会に行ったのが思い出です。④
- ・徳島に行って野球をしてきました。④ ・転校した友人とプールに行きました。⑤
- ・名水の里くろべ自然村で東京千代田区の子となかよくなりました。⑤
- ・夏休みは宿題が多くて大変だった。⑤ ・バレーボールの北信越大会で優勝できてうれしかった。⑥
- ・早めに宿題を終わらせたので、夏休みの後半が楽だった。⑥
- ・友達と定期的に遊んだのが楽しかったです。自分の家と友達の家の日替わりで集まりました。⑥

貴重な体験をした子、何気ない出来事を心に留めている子、さまざまだったようです。

2学期にがんばりたいこと

- ・けいさんがんばりたいです。① ・わくスタノート7さつをたっせいしたいです。①
- ・かんスキ（※漢字スキル）のしゅくだいをがんばりたいです。② ・うんどう会の100mで1位をとる。③
- ・2学期の期末テストで200点を取れるようにがんばりたい。④ ・苦手な教科の勉強をがんばりたい。⑤
- ・勉強とおうえん団をがんばりたい。⑤ ・計算大会で10位以内になる。⑥
- ・なりたい職業につくために勉強をたくさんする。⑥

新たな目当てと希望をもって前へ進もうとしている子供たちを、大人が皆で支え、励ましていく2学期にしたいと、改めて思いました。

★27日(土)の運動会に向けて少しずつ

1～4年生は新学期早々100m走の計時を行いました。最新の記録を参考に、赤白の団編成を行います。



9月に入ってもまだまだ暑い毎日なので、外に出る時間が長くなり過ぎないようにし、ピロティーで準備運動をしたり、保健室そばのミストシャワーを活用したりしています。

運動会本番には暑さが和らいているとよいのですが…。少しずつ身体を暑さに慣れさせることも大切にしながら準備を進めていきます。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

1学期の反省を生かした改善を試みています

1日(月)の始業式では子供たちに「1学期までの成果と課題を振り返り、よりよい取組となるようにしていこう」と話しました。教職員の間でも夏休み中に話し合いを行い、1学期の反省を基に2学期からの改善点をいくつか考え、実行に移しています。

その一つが休み時間に体育館を安全に使うための仕組みづくりです。異なる球技のボールが混在してケガにつながる事例があったため、2つのコート間に仕切りを設けることとしたほか、使い方の細かいルールについては、実際に同じ曜日に体育館を使うペア学年で話し合って決めました。

もう一つは給食に関してです。今年度、学校全体の残食量が増えてきているので、より落ち着いて食事に集中できるような時間設定に変更し、先に食べ終わった子供の動線も変更しました。

年度途中の変更でしたが、子供たちに大きな混乱はなく、少しずつ効果も表れてきています。

できるところから皆で工夫し、よりよい学校づくりを進めていきます。

シリーズ「教室におじゃまします」9月3日(水)4年算数科の巻

この日は1時間だけ、1年ぶりのそろばんを使った数の表し方と計算の学習でした。習い事での経験者も全くおらず、「どうするんだっけ?」といった顔の子ばかり。配られた教具用そろばんをシャカシャカ振るなど、しばし楽しんでから学習開始です。

まず3年生の復習として基本的な操作方法を確認したのち、簡単な数を実際に盤上に表しました。黒坂先生はクイズのように数カードを示したり、子供の様子を見て、定位点(黒い目印の点)から左へ順に「一の位」「十の位」「百の位」と付箋紙を貼ったりしていました。子供の関心や理解を高めるための様々な工夫です。

そろばんの仕組みと操作を少しずつ思い出してきたところで、4年生らしく小数の表し方に取り組みました。また、たし算・ひき算にも取り組みました。たとえば「3+4」は「3+5-1」と考えて1の珠と5の珠を操作するなど、それなりに頭を使います。具体的な操作の方法はデジタル教科書の動画でも確認できました。

授業でのそろばん学習は4年生で終わりますが、興味をもった子は教室や塾に通うのもいいのではと個人的には思います。

<おまけのひとりごと>自分が小学生の頃、生地にあったそろばん塾に通っていた子はごく数人でしたが、私のように塾に行っていない子も皆マイそろばんを持ち、授業では数時間をかけてそれなりにそろばん学習をしました。時代は移り、今では3・4年生でほんの少し学習するだけとなりました。そろばんを左手でしっかり押さえることや右手の親指と人差し指の使い方もおぼつかない子がほとんどです。取材に行ったはずの私でしたが、ついつい実演して教えてしまいました。そろばん、けっこういいものですよ。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()